

## 会議の概要(議事録)

|               |  |                      |    |  |
|---------------|--|----------------------|----|--|
| 会議の名称         | (番号)<br>3-08   | 平成24年度第4回すみだ環境共創区民会議 |    |  |
| 開催日時          | 平成24年7月19日(木) 18時30分から20時15分まで   |                      |    |  |
| 開催場所          | 墨田区役所3階 31会議室  |                      |    |  |
| 出席者数          | <p>【委員15人】<br/>           阿久沢委員 伊藤委員 小木曾委員 島崎委員 清水委員 高橋委員<br/>           中島委員 永岡委員 野島委員 森下委員 柳委員 横井委員<br/>           吉田委員</p> <p>【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>   |                      |    |  |
| 会議の公開<br>(傍聴) | 公開(傍聴できる)  | 傍聴者数                 | 0名 |  |
| 議 題           | 1 環境教育・環境学習の推進について<br>2 すみだまつり(環境フェア)の参加について<br>3 その他  |                      |    |  |
| 配付資料          | 1 「CO2削減 アクション月間」に参加するみなさんへ 他<br>2 すみだいっしょに打ち水大作戦！<br>3 すみだバクバクパトロール<br>4 すみだガバナンスリーダー養成講座<br>5 太陽光発電システム等の公共施設への導入状況  |                      |    |  |
| 会議概要          | 1. 環境教育・環境学習の推進について<br>(墨田区教育委員会 指導室 指導主事 池田 卓哉氏)<br>(1)小・中学校における環境教育・環境学習の現状及び今後の推進について<br>墨田区では「すみだやさしいまち宣言」に基づく、ひと・地域・環境にやさしいまちづくりを目指しています。それを受けて墨田区教育委員会としては、平成24年度の主要な教育課題としては地域の特色にあった魅力ある教育活動の展開の一環として「環境教育の充実」を掲げています。各学校において子供たちを主体とした「省エネルギーに対する取り組み」、子供たち自身が成果を実感できる内容で展開し、社会に貢献する態度を育成するとともに、教育活動だけではなく、学校管理上においても省エネルギー対策を計画的に実施するよう求めております。平成14年度からは子供たち一人ひとりに自分自身が環境に深く関わる存在である自覚を促す趣旨から、小学校4年生の全児童に環境副読本を配布し、環境教育を推進してまいりました。墨田区の環境について具体的に記述がありますので、子供たちが自分自身の問題として環境を捉えることができる内容になっています。細かな数値については毎年見直しをして改定をしております。内容は水質汚染、給食の食べ残し、資源、緑被率及び雨水利用等が扱われています。 |                      |    |  |

平成 21 年度から東京都教育委員会が 6 月を「CO2 削減アクション月間」と定め  
ました。児童・生徒が学校や家庭において環境に配慮した行動の実践を行う。墨  
田区においても、全小・中学校で推進をしております。主に小学校 5 年生、中  
学校 1 年生で実施をしております。

子供たちだけではなく、家庭と連携して取り組みを推進しております。小学生用  
チラシ（資料 P1.2）中学生用チラシ（P3.4）7 日間の取り組み終了後、各学校で  
集約をして子供たちに結果を還元しております。この CO2 削減アクション月間の  
取り組みは 6 月の期間限定ですが、各学校においては理科、家庭科又は総合的な  
学習等の時間において環境に関する学習を行っています。また学習指導要領の改  
訂に伴い、児童・生徒が自ら環境の課題を探究する学習活動の展開が求められて  
います。

平成 22 年度に東京都教育委員会から環境教育カリキュラムが全小・中学校に配  
付されました。（資料 P.9～19）各教科の中で環境教育を意識するように先生方  
にお願いしても難しいところがあります。そこで、環境教育カリキュラムでは各  
教科の環境教育の切り口を示しております。

また、教科を離れた取り組みも行っております。ごみの分別、ごみの減量化、  
空き缶・ペットボトルのキャップ等の回収、生ごみからの堆肥づくり、ピオト  
ブ、動物の飼育、学校農園、地域清掃等があります。

今後、墨田区教育委員会としては次の 3 点を柱として、環境教育を推進してい  
きます。

第 1 は、環境に対する豊かな感受性の育成。

第 2 は、環境に関する見方や考え方の育成。

第 3 は、環境に働きかける実践力の育成。

以上の 3 点を環境教育の大きなねらいとして、今後とも墨田区立小・中学校に  
おける環境教育のより一層の充実を図っていきます。

#### 【主な質問】

小・中学校の総合学習のときに出前事業を行った。学校で環境に関する勉強をや  
っているようだが、子供たちは分かっていない感じがする。勉強をしている時はよ  
いが、一時的で持続性がない。以前、婦人会長をしているとき、家庭のごみ出しや  
資源回収を子供に手伝わせて、新聞や雑誌等を集積場に持ってくるようお母さん  
たちをお願いした。学校で勉強したことを家庭で実践させる必要がある。ごみ出しが  
正しく行われているのか近所の集積所を見せて、ルール違反のごみはないのか、そ  
していかに意識してごみを分別する必要があるのか考えさせる。そして子供が勉強  
したことを親と話をすることで、親もそのことに感心を示すようになる。学校から  
子供を通じて親の教育をお願いしたい。

地域の特色とありましたが、スカイツリーを環境教育にどう取り入れるのか。ま  
た、尾瀬国立公園はごみゼロ、墨田区もごみゼロ、スカイツリーもごみゼロ、林間  
学校をやるとか、何か関係はできないか。最後に、天水尊の水利用ということであ  
ち水はどうか。私の感覚としては環境学習のレジメは揃った。これからはどう進化

させるか。環境グループ等の意見を入れて耕していくとよいものができる。

環境教育について評価はどのように行っているのか。

各学校において年度末に学校評価の中で行っている。

小学校4年生に配付されている副読本は授業でも活用しているのか。また、「CO2削減アクション月間」の参加率は。その参加率を高める教育委員会の工夫は。

副読本は授業で活用されていると思うが、その確認は行っていない。今後、授業での活用を強く促していく。「CO2削減アクション月間」の参加率は中学校で1校は全学年参加で100%。その他は中学校2年生が対象なので33%。小学校は5年生が対象なので16%。

すみだ環境の共創プラン、すみだ環境区宣言をもっと学校でやってもらいたい。スカイツリーを利用するという点で、子供環境会議等の催し物をやってはどうか。

学校における環境に関する取り組み方は先生によって大きく変わってくる。そうでなくなる対策はないのか。また、環境教育は机上の勉強ではなく実践が重要だと思う。

環境に関する取り組みについては学校間の温度差は確かにあると思うが、その結果が目で見えて分かる仕組みを整える必要がある。また、その情報を共有する仕組みが必要だと思う。

(事務局)

いろいろご意見を伺って、教育委員会がやらなければいけないもの、環境保全課がやらなければいけないもの、教育委員会と環境保全課が一緒にやらなければいけないものがあり、そのへんの整理が必要だと思います。今後、教育委員会指導室と連携をとって話を進めていかなければいけないと思います。

## 2. すみだまつり(環境フェア)の参加について

会長より10月13日・14日のすみだまつりに、すみだ環境共創区民会議としてブースを設けて参加するかどうかの説明があった後、意見交換を行った。

【説明内容】

参加の内容は、ブースでのパネル展示、環境ふれあい館までのまち歩き又はスタンブラリー等を想定している。

【主な意見】

(事務局)

10月のすみだまつりについてはまだ白紙の状態です。文化振興担当より通知がきていないのでスペース等も未定の状態です。昨年は公園の改修工事の関係で体育館で実施をしましたが、今年は公園の広場と聞いております。どのくらいのスペースが与えられるかわかりませんが、環境区民会議としてできることをお話いただければと思います。

パネル展示はどのような内容を想定していますか。

事務局(案)ですが、家庭での省エネ生活の取り組みを昨年・今年と行っていますので、その成果をパネルにしてはどうか。また、平成22年度末、前期のすみだ環境共創区民会議の活動報告書を取りまとめているので、その中から抜粋して

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>はどうかと考えております。</p> <p>エコライフサポーターでも省エネ生活の取り組みを行っている。すみだ環境共創区民会議として特色のあるものを行った方がよい。環境ふれあい館までのまち歩きについても、目的をきちんと決めた方がよい。</p> <p>すみだ環境共創区民会議の存在を区民の方に知ってもらうことが必要。</p> <p>すみだ環境共創区民会議やすみだ環境の共創プランの宣伝が一番必要。</p> <p>すみだ環境の共創プランが区民に浸透していない。そこでプランを浸透させるために、プランの大きなポイントをクイズ形式にしてはどうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>いままでの皆さんのお話では、すみだ環境共創区民会議としてすみだまつりに参加することはOK、すみだ環境共創区民会議自体をPRすることもOK。すみだ環境の共創プランをもっと理解してもらうために、たとえば子供たちとのふれあい、中学生との会議、見える化等、その辺について詳細は次回に検討するというところでどうでしょうか。</p> <p>3. その他、情報提供等</p> <p>(1) 打ち水の実施について</p> <p>会長より、すみだ環境共創区民会議として打ち水を実施することを説明する。</p> <p>8月7日(火)午後3時・環境ふれあい館</p> <p>(2) 太陽光発電システム等の公共施設への導入状況について</p> <p>事務局より、太陽光発電システム等の公共施設への導入状況について説明を受けた。</p> <p>【主な説明】</p> <p>一覧表は既に設置されたものを表示しています。他に今後の予定として、3施設があります。旧堤小学校跡地に建設中の新統合中学校、旧第五吾嬬小学校跡地に建設中の八広プラザ、建て替え中の八広保育園に施設を予定しています。</p> <p>4. 次回の検討事項について</p> <p>会長より、次回、8月16日は基本目標3について検討を行うことが説明された。</p> |
| 所 管 課 | 区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463  |